

明治～昭和初期、高い精神文化の香りある清雅な鎌倉の礎を築いたひと

た な べ し ょ う は

## 田邊松坡～教育者・漢学者・家庭人

鎌倉市の図書館が所蔵する貴重コレクションである「田邊松坡文庫」。  
これは、逗子開成中学校・高等学校や鎌倉女学院の創立者である田邊新之助（松坡は新之助の号）のご遺族が、昭和22年鎌倉図書館（当時）に寄贈した蔵書群のことです。  
教育者であった「新之助先生」は、生涯を通じて漢詩や書を各界の人びとと楽しむ「松坡先生」でもありました。

講師：袴田潤一（逗子開成中学校・高等学校 元校長）  
日時：11月3日（金）午前10時～正午（開場9時40分）  
会場：鎌倉市中央図書館3階多目的室  
受講料：無料  
定員：50名（要申込・先着順）  
申込：中央図書館へ直接、または電話・メールで  
（受付開始10月1日）  
※メール kama-lib@kanagawa.email.ne.jp  
件名に催し名を記載の上、氏名・連絡先（電話）の明記をお願いします  
※電話 中央図書館（0467-25-2611）



田邊松坡

明治～昭和初期、鎌倉に住んだ田邊松坡（新之助）は、近代鎌倉の足跡をたどり、100余年にわたる鎌倉の図書館の歴史を振り返るとき、忘れてはならない重要人物の一人です。

田邊は、第二開成学校（のちの逗子開成中学校）や鎌倉女学校（現鎌倉女学院）を設立した教育者として知られていますが、「松坡」と号し、漢詩人、漢学者としても著名です。「鎌倉同人会」が発足したときには会の命名と発起趣意書を起草し、同会が市内各所に建てた史蹟碑の碑文を撰んでいます。また、田邊は、高橋是清、松方正義、陸奥広吉、星野天知など、同時代の高名な紳士たちとの出会いによって支えられ、親しまれ、慕われました。大巧寺、建長寺、寿福寺の僧侶が田邊のもとで学んだという記録もあり、明治

から大正昭和にかけて、風雅な鎌倉の礎を築いた方といえましょう。

その上、旧鎌倉図書館の前庭に建立されている間島弟彦の旌徳碑（図書館や国宝館への寄付を讃えた石碑）の撰文を行い、没後、漢籍を中心とする約6千冊の蔵書が鎌倉図書館に寄贈されるなど、図書館とのかかわりも深い方です。

この度、年に一度の図書館まつりである「ファンタスティック☆ライブラリー106」において、袴田潤一氏の講演会を開催します。これにより、田邊松坡（新之助）の功績と人柄が現代の人びとに広く共有され、鎌倉にふさわしいこれからの図書館の在り方を考える一助になれば幸いです。

主催 図書館とともだち・鎌倉

